

平成28年度 高知県公立大学法人永国寺キャンパス消防訓練実施要領

- 1 目的 火災発生時に適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、併せて教職員、学生の防火意識の向上を図ることを目的として実施する。
- 2 日時 平成29年3月14日(火) 15時30分～
- 3 場所 高知県公立大学法人永国寺キャンパス
- 4 対象者 訓練時に永国寺キャンパスにいる教職員、学生(短大教職員、学生含む)
- 5 訓練総括責任者 中澤理事長(総括責任者)、村山法人本部長(副総括責任者)
- 6 訓練内容 総合訓練(初期消火、通報、避難誘導)
- 7 想定 教育研究棟1階A109講義室のAV機器付近から出火し、自衛消防隊の初期消火にもかかわらず延焼拡大中である。
- 8 当日スケジュール
 - 9:00～ ①通報連絡班長は、高知市消防局代表電話に119番通報訓練を行う旨、予め連絡する(消防局代表電話:088-822-8151)
 - 9:30
 - 15:10 ②教育研究棟1階A109講義室のAV機器付近に三角コーンを火点表示として15:25で置く
 - ③消火器班の班員(1名)は三誠産業から事前に屋内消火栓の使用方法についてレクチャーを受ける
 - 15:30 ④訓練案内放送(通報連絡班員)
 - ⑤火災発見者(警備員)が1階A109講義室のAV機器付近からの炎を確認
 - ⑥火災発見者(警備員)は1階A109講義室東ドア横に設置している屋内消火栓に設置している火災報知機の非常ベルを押下
 - ◎出火階数は自動放送されるので、一般参加者は各自で避難開始
 - 15:32 ⑦火災発見者(警備員)は、自動火災報知設備発報に伴い守衛室に戻り非常放送(火災発生及び場所、初期消火活動開始、避難誘導開始及び119番通報を指示)
 - 【非常放送後の各班の行動】
 - ア 消火器班長(久保学生支援部長)は、トランシーバーを携行し班員とともに現場の火元へ駆けつけ1階設置の消火器、屋内消火栓を使用して初期消火活動開始
 - イ 避難誘導班は、担当階に着く
 - 避難誘導班長(小島学務支援室長)と副班長(竹田教務課長)は、点呼用掲示板及びメガホンを携行し2階屋外階段経由で屋外避難場所(1階A101講義室前・別添教育研究棟避難経路及び避難場所図参照)へ出て待

人

機（避難者を点呼確認しやすいように避難場所に点呼用掲示板を置き、全階避難完了確認後、避難誘導班員に点呼を指示）

ウ 自衛消防隊本部（訓練総括責任者（中澤理事長）、自衛消防隊長（村山法

本部長）、自衛消防副隊長（各大学次長）は、3階事務局中央監視室に集合、通報連絡班長の火災発生、119番通報の聞いた後、2階屋外階段経由で屋外避難場所へ出て消火器班、避難誘導班の報告を待つ

エ ①通報連絡班長は、火災発見者（警備員）による非常放送の火災発生場所と3階中央監視室の火災受信機で表示される箇所との火元確認を行った後、119番通報し、班員に非常放送を指示

②通報連絡班員は、火災発生及び場所のお知らせ及び避難指示を非常放送

③上記①及び②終了後、2階屋外階段経由で屋外避難場所へ出て待機

オ 安全防護班は、防火扉が可動して避難路の確保ができてい6階から確認していき2階屋外階段経由で屋外避難場所へ出て異常の有無を安全防護班長（大野財務部長）に報告

カ 救護班長（健康管理センター野中さん）は、班員とともに救急箱、重要書類等を携帯して2階屋外階段経由で屋外避難場所へ出て待機

キ 搬出班長（岡本教務課長）は、班員と予め定めた書類、データ等を2階屋外階段経由で屋外避難場所へ持ち出し管理

ク 火災発見者（警備員）は、火元に戻り初期消火

15:35 ⑧1階担当以外の避難誘導班員は、担当階で残留者を確認しながら学生等を2階屋外階段経由で屋外避難場所まで避難するよう誘導していき、避難場所で避難誘導班長に残留者の人数を報告

⑨1階担当の避難誘導班員は、1階で残留者を確認しながら学生等を1階主出入口から屋外避難場所へ避難するよう誘導し、避難誘導班長に残留者の人数を報告

⑩三誠産業は、火災受信機の主音響を停止する

⑪消火器班は、初期消火の消火体勢で消火器1本15秒計6本及び屋内消火栓の使用を想定し、約2分間行うが、火の勢いが強く天井に達したため、班長はトランシーバー（CH13）で消火に失敗したことを隊長に報告

→ 隊長の指示により消火を断念し、火災発見者（警備員）と共に学生を誘導しながら避難する

15:40 ⑫避難誘導班長は、避難誘導班員全員から担当階の残留者数、誘導完了の報告
～15:50 を受ける

⑬避難誘導班員は、班長、副班長が大学別に分けた避難者を点呼し班長に報告

⑭避難誘導班長は、報告結果を「安否確認集計票」にまとめる

15:55 ⑮避難誘導班長は、自衛消防隊本部に集計結果を報告し、避難訓練終了

16:00 ⑯全員、教育研究棟1階コミュニケーションコアに集合

～16:20 ⑰三誠産業の指導のもと火元を想定して屋内消火栓の操作方法及び模擬消火訓練を実施

16:15 ⑱消火訓練終了後、全員、1階階段前付近に集合

⑲中澤理事長(総括責任者)から講評、 終了後解散

16:20 ⑳総合訓練終了放送

9 訓練担当者

① 自衛消防隊本部 (指揮班)

訓練統括責任者：中澤理事長

副訓練統括責任者 (自衛消防隊長)：村山法人本部長 (トランシーバー1)

自衛消防隊副隊長：田上県立大次長、福田工科大次長

② 通報連絡班

班長：中山総務企画課長

班員：武市、山地 (非常放送係)

③ 消火器班 班長：久保学生支援部長 (トランシーバー2)

班員：村岡 (屋内消火栓係)、山本、横川

④ 避難誘導班 班長：小島学務支援室長

副班長：竹田教務課長

班員：1階 西：伊井野 東：竹田

2階 西：福島 東：島田

3階 西・東：漆畑

4階 西：山崎 (恵) 東：濱田

5階 西：臼杵 東：町田

6階 西：北岡 東：鶴保

⑤ 安全防護班 班長：大野財務部長

班員：1～3階：和田 4～6階：山中

⑥ 搬出班 班長：岡本教務課長

班員：山崎 (真)、塩田

⑦ 救護班 班長：野中

班員：小原

⑧ 記録者

ビデオ：岡田 (主に1階の消火訓練のほかは2階以上の避難訓練適宜、最後の講評必ず)

カメラ：横山 (主に1階の消火訓練の他は2階、3階の避難訓練)、服部 (主に3階の本部の他は4階から6階までの避難訓練)

⑨ 事前準備係 山中

⑩ 事務室待機者 教育研究棟 法人本部：岡林、藤木、佐竹

県立大：加地、町田、

工科大：秋山、菊池、松谷、和田

⑪ 火災警報器、防火扉等の操作 三誠産業

10 事前準備

○準備物

拡声器2台、安否確認集計票、鉛筆、トランシーバー2台、点呼用掲示板5枚、ヘルメット、ベスト